

「日露地盤技術セミナー」を開催しました ～ ロシア極東国立交通大学との研究交流 ～

寒地基礎技術研究グループ

寒地土木研究所は、5月7日に寒地土木研究所講堂において、「日露地盤技術セミナー」を開催しましたのでここに紹介します。

寒地土木研究所とロシア連邦ハバロフスク市にある極東国立交通大学(Far Eastern State Transport University、以下「FESTU」という。)は、寒冷地の道路建設技術分野における研究交流および協力を促進することを目的として2011年6月21日に、「研究交流および協力に関する協定」を締結しています。この協定に基づいて、2011年9月から3か月の期間、FESTUの大学院生(博士課程)を交流研究員(外国人受入研究員)として防災地質チームで受け入れてきたところです。

この度、FESTUのDmitry Yu. Maleev 准教授が来所することとなり、お互いの研究成果を発表し、意見交換を行いました。

セミナーのプログラムは以下のとおりです。

■プログラム

I 研究成果報告

- ・ Overburden-dependent seismic reaction of tunnels (土被り厚に依存するトンネルの地震挙動)

Maleev 准教授

- ・ Geological problems of tunnel construction in Hokkaido (北海道のトンネル建設における地質課題)

防災地質チーム 伊東上席研究員

- ・ Seismic microzonation of an oil pipeline (石油パイプライン沿いの地盤の地震波によるハザード区分)

Maleev 准教授

II 東日本大震災調査報告

- ・ Summary of the Earthquake and landslide disaster (地震動の概要と地すべり被害)

防災地質チーム 倉橋総括主任研究員

- ・ Damage of bridge (橋梁の被害)
寒地構造チーム 澤松研究員
- ・ Damage of embankment and coastal area (盛土と沿岸部の被害)
寒地地盤チーム 安達研究員、梶取研究員

本技術セミナーには、北海道大学、公益社団法人地盤工学会北海道支部会員、北海道土木技術会会員の方にも参加いただき、ロシア極東国立交通大学と寒地土木研究所の研究の現状について情報の共有と意見交換を行いました。セミナーの翌日には、トンネル工事現場を見学に行きました。

9月にはハバロフスクとウラジオストクにおいて、セミナーが予定されており、さらなる研究交流を深めたいと思います。

(文責：西本 聡)



セミナーの様子